

気象庁 55 年長期再解析領域ダウンスケーリングデータ (DSJRA-55) の
高知市の豪雨の再現性について

1200267 森 めぐ

Megu Mori

Reproducibility of heavy rainfalls in Kochi City in Dynamical Regional Downscaling
Using the JRA-55 Reanalysis(DSJRA-55)

DSJRA-55 データがどの程度高知市の豪雨を再現しているかについて調べた。DSJRA-55 は日本全域で見ると豪雨の再現性としてアメダスとの相対評価では、日降雨量 100 mm 以上に対しては相関係数が 0.93 と 1.0 に近く再現性が良好だと評価されているが、閾値をさらに大きくした日降雨量が 200、400 mm を超える豪雨においては必ずしも再現性が確保されているわけではないことが分かった。極端な豪雨の事例として高知アメダスの日降雨が 1886～2012 年間に於いて最大であった、1998 年 9 月 24～25 日を例にとると、アメダスでの日雨量はそれぞれ 628.5、245.5 mm であったのに対し、DSJRA-55 ではそれぞれ 195、126 mm と観測の 1/3～1/2 程度であり、DSJRA-55 は実際の観測に比べて著しい過小評価となっている。DSJRA-55 など再解析データは観測データを数値モデルで同化し観測を補完するデータとみなされているが、高知市の極端な豪雨については必ずしもアメダス観測データを再現できているとは言えないことが示された。